

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	京都府立舞鶴子ども療育センター 放課後等デイサービス そらいろ	公表日	2025年 4月 末日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・改善が必要だと思われる点など
環境・ 体制 整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	33%	67%	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容を工夫することで現在の定員でも危険なく活動できるようにしています。 ・その場で出来る活動プログラムを設定し、行っています。 ・定員になると手狭になると思います。 ・運動活動などは少し難しいかもしれません。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	17%	83%	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの状態を事細かに観察し、支援をすることがやや難しいと思います。 ・多動や入室がスムーズにいかない児童には1対1での対応が必要で、その児童の対応に職員が一人つくると、それ以外の児童に目が届きにくくなり支援がどうしても手薄になってしまいやすいです。その場合、事前に打ち合わせで予測しスタッフの動きを確認したり、応援をよべるようにしておくなどしています。 ・基準上必要な人数は満たしていますが、増えるとより個に応じた療育的支援ができると思います。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。	100%		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		
業務 改善	5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングで常に話し合っています。
	6 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		
	7 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		
	8 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	33%	67%	<ul style="list-style-type: none"> ・活動プログラム等は書籍等を参考にしています。 ・研修案内はみるが業務多忙でなかなか受講できないのが現状です。 ・SSTに関する研修は今年度はありませんでした。 ・他の専門家による助言や研修の機会を今後設けていきたいと思えます。
適切 な 支 援 の 提	9 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者控室に掲示しています。
	10 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		
	11 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		
	12 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		
	13 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・子供の強さと困難さアンケート（SDQ）を使用しています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・各曜日のリーダーが主となって立案を行いますが、他の職員の意見を聞きながら決定しています。
15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・基本的にはある程度固定した活動プログラムを繰り返し学び、スキルを身につけていると思っています。 	

供	16	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	83%	17%	・スタッフの業務により紙面共有に終わるときもありますが、基本的に打ち合わせを行います。
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		
	19	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		
	20	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	100%		
	21	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		
関係機関や保護者との連携	22	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		・担当者が参加しています。
	23	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		
	24	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	20%	80%	
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		100%	・感染リスクやスケジュールの面で難しいです。
	26	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	60%	40%	・担当者が参加しています。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		
	28	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%		
保護者への説明等	29	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		
	30	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		
	31	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		
	32	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	83%	17%	・活動の前後に相談があれば対応しているが、面談という形で話せる時間を確保できると良いと思います。 ・グループ相談は実施しているが、個別相談はケースに応じて対応しています。
	33	保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%		
	34	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	83%	17%	・ご相談やご意見に対しては丁寧に伺い声掛けしているが、内容によっては迅速に対応できたかどうかと感ずることもあります。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		・注意喚起を紙面、口頭にて行うと同時に、保護者さまの不安な気持ちに寄り添いながら、懇談会や個人面談を通じてお子さんの様子を丁寧にフィードバックし、保護者さまに心から安心して頂けるように配慮してまいります。
	36	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	83%	17%	

非常時等の対応	37	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		
	38	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	80%	20%	職員に対して防犯対応の周知と指導を行っています。
	39	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		
	40	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		
	41	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		
	42	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		